

平成23年度第2回広島県道徳教育研究協議会（全体報告会）

## 「全教職員が参画する農業高校 での道徳教育のあり方」



平成24年2月17日

広島県立西条農業高等学校

## 広島県立西条農業高等学校の概要

○創立101年の歴史と伝統

○在校生320名(男子443名・女子372名)

○校訓「創造 実践 育命」

○7つの学科で特色ある専門教育

○広島県の農業高校の拠点校

○高い進路決定率と実績ある伝統的な部活動



## 西条農業高校の道徳教育

### 1 研究課題

自立心や自律性、生命を尊重する心を育む道徳教育

### 2 研究主題とその設定理由

「全教職員が参画する農業高校での道徳教育のあり方」

・学習指導要領が改訂され、道徳教育の役割の確認と全教職員が道徳教育に関わることが求められている。

・各教科・科目の教育活動と道徳教育との関連性を整理しながら、農業教育における道徳教育のあり方を考えていきたいと考えた。

・農業教育を通して、生命の尊さを学び、自他の命を尊重する態度と豊かな心を育む道徳教育を推進したいと考えた。

### 3 研究内容の概要

(1)道徳教育推進体制確立に向けた道徳教育推進委員会の設置

(2)道徳教育研修会の実施

(3)全教職員が参画したホームルーム活動指導案の作成

(4)道徳教育の全体計画との関連や指導の内容及び時期等に配慮した年間指導計画の作成

(5)研究授業等における道徳的視点を取り入れた全教科・学科指導案の作成

### 4 中学校との連携内容

本研究事業を行うにあたって、近隣の中学校であり、今年度新しく新設された東広島市立中央中学校と次の内容を中心に連携を行うこととした。

・本校職員が中学校へ訪問しての授業参観

・道徳教育教材の中学校からの資料提供  
(指導計画・指導案・使用教材等)

・中学校教職員が本校に来校しての授業参観と研究協議における意見交換

### 5 研究実施の主な内容

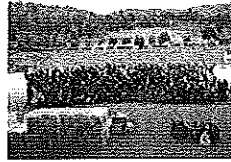
日程	内容
5月11日	第1回ホームルーム活動(道徳教育)、第1回アンケートの実施 【テーマ:生命を見つめる】
6月10日	第1回道徳教育研究協議会への参加
8月31日	道徳教育研修会(大阪教育大学名誉教授 藤永芳雄先生) 【テーマ:道徳教育とは～高等学校における道徳教育のあり方～】
10月5日	東広島市立中央中学校での授業参観
10月19日	第2回ホームルーム活動(道徳教育)、研究協議 【テーマ:生命や食について考える】
12月7日	第3回ホームルーム活動(道徳教育)、研究協議 【テーマ:生命や環境について考える】
12月20日	公開研究授業(めぐり道徳フェア) 第4回ホームルーム活動(道徳教育)、講演会、生徒発表会、研究協議 【テーマ:自他の生命について考える】
12月21日	第2回アンケートの実施
2月上旬	「命の作文」の作成(生徒)

6 ホームルーム活動(道徳教育)指導計画と各学年のねらい  
全体のねらい「農業教育を通して生命を尊重する心を育む」

	日時	第1回 5月11日 (水)	第2回 10月19日 (水)	第3回 12月7日 (水)	第4回 12月20日 (水)
学年	ねらい	生命を見つめる	生命や命について考える	生命や環境について考える	自然の生命について考える
1 学年	生命を見つめ、豊かな心を育む	自然の生命を見つめる アンケート、作文	生命に対する畏敬の念を育む 1学年自作資料による授業	生命や環境とのかかわりについて考える 態度を育む 「山のグランドワーク」記念講演資料による授業	生命を見つめ、豊かな心を育む 1学年生徒作文を資料にした授業
2 学年	生命の尊さを学ぶ態度を育む	自然の生命を見つめる アンケート、作文	人を支えている生命を尊重する心を育む 2学年自作資料による授業	生命や環境に優しく接する心を育む 「山のグランドワーク」記念講演資料による授業	生命の尊さを学ぶ態度を育む 2学年生徒作文を資料にした授業
3 学年	自分自身の在り方・生き方について考える態度を育む	自然の生命を見つめる アンケート、作文	生命や命に感謝するとともに、今後どのように行動すべきかを考える態度を育む 3学年自作資料による授業	生命や環境に対して、どのように行動すべきかを考える態度を育む 「山のグランドワーク」記念講演資料による授業	自分自身の在り方・生き方について考える態度を育む 3学年生徒作文を資料にした授業

7 主な道徳教育の実践内容

(1)山のグランドワーク



酒の水守り森づくり100回  
西条・山と水の環境機構



「酒の水守り森づくり100回」は、西条市と山と水の環境機構が主催する、酒の文化と自然環境の保全を目的とした活動です。毎年11月から12月にかけて、市内各地で開催されています。この活動は、酒の文化を継承するとともに、自然環境を保全し、持続可能な社会の実現を目指しています。

酒の水守り森づくり100回  
西条市と山と水の環境機構  
毎年11月から12月にかけて、市内各地で開催されています。この活動は、酒の文化を継承するとともに、自然環境を保全し、持続可能な社会の実現を目指しています。

呉・東広島

7 主な道徳教育の実践内容

(2)公開研究授業テーマ「生命はなぜ尊いのか」

①授業風景

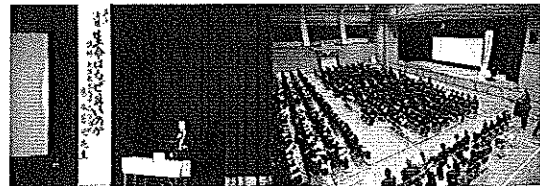


②生徒発表会

各学年代表の3名が発表

③講演 大阪教育大学 名誉教授 藤永芳純 先生

演題「生命はなぜ尊いのか」



8 アンケート結果から

実施日 第1回 5月11日  
第2回 12月21日

(1)注目していた項目

意識に関する項目	肯定的回答	行動に関する項目	肯定的回答
生命の尊さを理解し、自然の生命を尊重している。	95.1 →95.0	自分自身の命や周囲の命を尊重し、行動している。	92.5 →93.7
美しいのや、自然のすばらしさを感じ、それを守らうという気持ちがある。	91.0 →92.5	自然から自然を守ることにつながることとしている。	70.5 →78.1

(2)特に数値の変化があった項目

意識に関する項目	肯定的回答	行動に関する項目	肯定的回答
社会の一員として、よりよい社会の実現のため、努力する気持ちがある。	90.4 →91.7	社会の一員として地域において個人的・ボランティア活動に参加している。	40.8 →57.4
正義感を持ち、差別や偏見のない社会の実現に努めようとしている。	88.0 →91.9	他人の被害ついていることを意識し、支援しようとしている。	64.0 →73.0
自分の郷土を愛し、その発展のために力になりたいという気持ちがある。	79.8 →80.7	地域の行事に積極的に参加している。	44.4 →54.1
日本を愛し、伝統を継承し、郷土文化を尊重しようという気持ちがある。	78.7 →81.0	日本の文化や伝統を理解し、生命を尊重し、行動している。	49.2 →69.2

9 成果(アンケート結果から)

・ねらいとした「農業教育を通して、生命の尊さを学び、自他の命を尊重する態度と豊かな心を育む」ことを通して、意識していることが行動として表現できる生徒が増えたといえる。特に、自然とのかかわりや、集団や社会とのかかわりに関する項目で道徳的実践力が高まった。

・農業教育の実践をもとに、学年会・教科・学科等を通して作成した自作教材の教材開発・活用ができた。